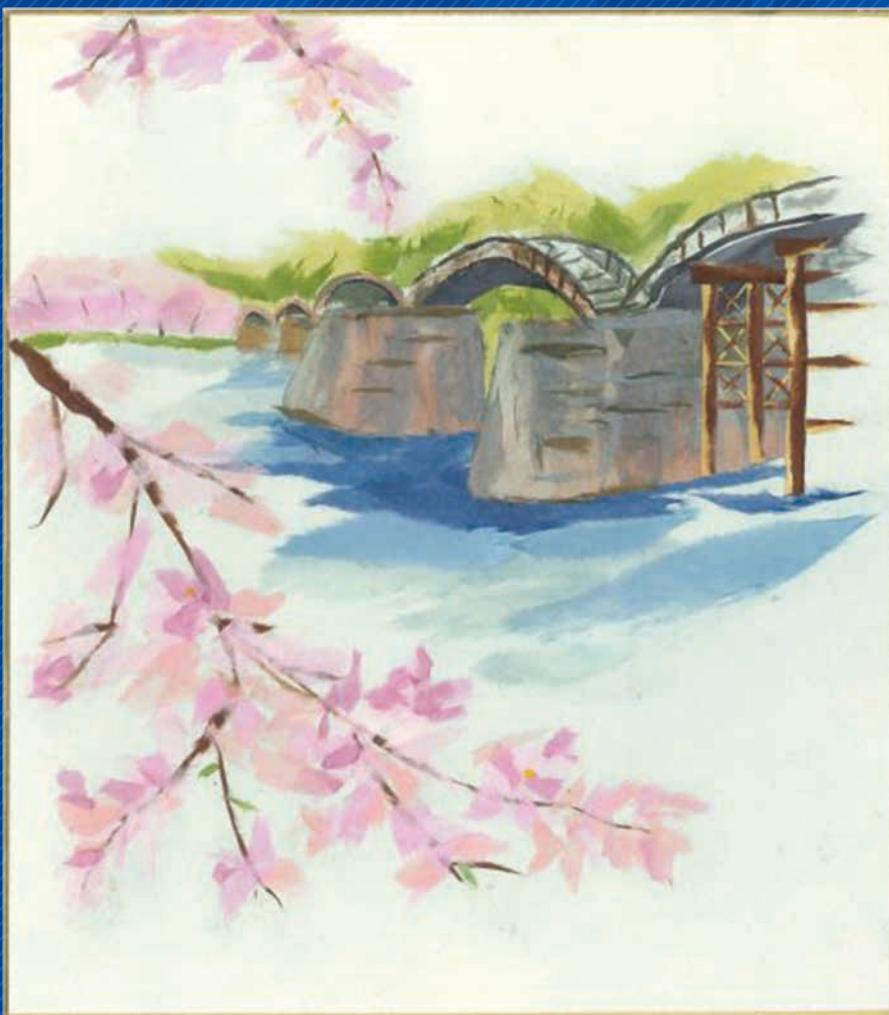




# 全日本私塾教育ネットワーク 私塾ネット広報

第73号・20周年記念号

(2021年4月号)



清流に花の雲あり錦帶橋(直入)



全日本私塾教育ネットワーク

理事長:仲野十和田(ナカジユク) TEL:03-3963-5572

センター事務局:長江 広紀(英数学院) TEL:044-788-7556

〒211-0044 神奈川県川崎市中原区 新城5-9-25 英数学院内

<https://shijuku.net>



# 日本のシステムを変える。 もちろん教育も。 2021年4月18日(日)14:00~17:40

現地にいらっしゃる方は、当日の会場で!  
会場に来れない方は、目の前のスマホ・パソコンから、ZOOMでのご参加で!  
ぜひ、お会いいたしましょう!!



## 講演者:高嶋 哲夫<プロフィール>

1949年7月7日、岡山県玉野市生まれ。小説家。兵庫県神戸市在住。岡山県立玉野高等学校、慶應義塾大学工学部卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。

日本原子力研究所（現・日本原子力研究開発機構）研究員を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校に留学。1981年に帰国後、学習塾を経営。1999年、『イントゥルーダー』で第16回サントリーミステリー大賞・読者賞をダブル受賞し、本格的に作家デビューする。2010年、『風をつかまえて』が第56回青少年読書感想文全国コンクール課題図書（高等学校の部）に選定された。同じく2010年に発表した『首都感染』が2020年の新型コロナウイルス感染症拡大を予言しているとして話題となった。2017年に『福島第二原発の奇跡』でエネルギー・オーラム賞優秀賞を、2020年に第1回「日本応用地質学会表彰」を受けた。日本推理作家協会、日本文芸家協会、日本文芸家クラブの会員。全国学習塾協同組合副理事長。

## オンライン(zoom)でご参加の方へ

4月13日(火)に、申込時に登録されたメール宛にZOOMのIDとパスワードをご案内いたします。現地同様、13:30から入ることができます。途中からの参加も可能です。



## 当日のプログラム (プログラムは予定であり、変更になる場合があります)

### ①『20周年記念式典』(60分) 14:00~15:00

- オープニング 映像で贈る「私塾ネット20年」
  - 主催者挨拶: 私塾ネットセンター理事長: 仲野十和田 (東京・埼玉: ナカジユク)
  - ご来賓祝辞 (私学代表、学習塾代表、協賛企業代表)
  - 功労者へ感謝 長年のエリア代表、そして元エリア代表 全国から状況報告。「私の代表時代、そしてエリアの今」
- <休憩 20分>

### ②講演『日本のシステムを変える。～もちろん教育も～』講演者: 高嶋 哲夫先生 (60分) 15:20~16:20

### ③深化。深める。深まる。(45分) 16:30~17:15

- セッション『どう思う? どうする? そして最近どう?』
- 会場でもZOOMでも6人1組になって、思いを聞き合いましょう。

### ④『ふりかえりと感謝』(25分) 17:15~17:40

- 私塾ネット各エリアなどから
- 謝辞 私塾ネット会長: 鈴木正之 (東京: いぶき学院)



# | 理事長・会長より挨拶



**私塾ネット理事長 仲野十和田  
(ナカジュク・東京都)**

2001年に産声を上げて、早20年。私塾ネットも成人式を迎えました。初代理事長は業界でも名声の高い山口恭弘先生（広島県）。私は発足2年目から山口理事長の下、事務局長をさせていただきましたが、その経験は私にとってとても大きなものでした。「何かあつたら私がいるから、思う通りにやってください」と言われながら、山口先生には全国の様々な塾に連れて行っていただき、私にとって大きな財産になっています。その後2代目谷村理事長、3代目鈴木正之理事長、4代目湯口兼司理事長へも何らかの形で関わらせていただきましたことも、とても良い経験になりました。私にとってはどの方も尊敬する素晴らしい方々です。

エリアの活動も活発に行われました。特に印象に残っているものは、エリア北海道の入江先生が仕切ってくださる研修では、その後行くお寿司屋さんが毎年楽しみでした。エリア東北では、八戸で全国研修大会を行い、元代表の畠山先生や会員の先生方にはお世話になりました。三六横丁が懐かしいです。エリア中部の研修では、

チャレンジ学院（松本エリア代表）の研修施設をお借りしました。夜抜け出して街に行こうとしましたが、周りが暗すぎて諦めました（笑）。エリア中国では、個人的にいろいろな塾を訪問させていただきましたが、田中学会（田中弘樹先生）のスタッフ会議に参加させていただいたときの光景は今でも印象に残っています。会議中に転送された入会問い合わせの電話がじゃんじゃんなり、次々と教室長が廊下へ出していくのです。刺激的でした。エリア四国は毎年2回、しっかりと研修をしてくれます。お陰様で四国は第2の故郷のような気がしています。研修会場となるホテルから見える「瀬戸大橋」は絶景です。

毎年行われる全国研修は、田中宏道研修部長と前年の秋ごろから考え始めるのですが、今思い返すと、思い出深い研修が行われてきました。私塾ネットの研修会の素敵なところは、研修部長を中心に楽しく会が運営されていくことです。この雰囲気は谷村先生（初代エリア関東代表＆2代目理事長）が作ってくれたものだと思いますので、大切にしていきたいです。

コロナ禍で、元気のない社会になりがちですが、こんな時だからこそ、楽しくやっていきたいです。塾もそうですが、何か楽しいことをやっているところには行ってみたいと思うのではないでしょうか？私塾ネットは全国規模では唯一の任意団体です。本来塾が持っている「自由さ」を武器に、次の10年に向けて進んでいきます。



**私塾ネット会長 鈴木 正之  
(いぶき学院・東京都)**

私塾ネットが20周年を迎えたことは、会員の皆様、ご理解をいただきしております贊助会員の私立中学校高等学校様及び企業の皆様、さらに学習塾団体及び教育関係の皆様のおかげでございます。ありがとうございます。

3つの任意団体、全国私塾連盟（全塾連）、全日本私塾協会（PTF）、日本私塾会（日私会）が大同団結し発足した私塾ネットは、2001年から20年間、組織を維持運営していくにあたり色々なことがありました。その中で、やはり楽しかったことは忘れられません。札幌の寿司とカラオケ、青森下北の自然とエリア東北第1回総会、エリア関東の私学情報交換会や懇親旅行、エリア中部ゆけむりの会やりんご狩り、エリア近畿の京都での第1回総会、エリア中国の研修会の後の城先生と北川先生の話や厳島神社ともみじ饅頭、四国の説教部屋と高松の夜、うどん、山口先生の笑顔…本当に切りがありません。

研修会では私塾ネットの会員以外の方とも知り合いとなることができました。そこで学びとつながりが私の財産になっていることは言うまでも有りません。今後も「学び」、「楽しみ」、「つながる」ことが私塾ネットの活動であり、それがそこに集う人たちにとって有意義な時間となり、未来へとつながっていくものだと考えます。

私塾ネットは会の性質上、姿かたちを変えながら多くの人、多くの団体を結び付けていくことができます。今後、他団体の皆さんと交流し協力をしていくことで、私塾ネットだけではなく、学習塾業界全体が発展していくはずです。そして学習塾業界が発展することが子供たちの将来、日本の未来を変えていけると信じております。

私塾ネットの今後の10年ですが、関東では谷村現最高顧問と仲野現理事長と私の3人が、発足からセンター役員として20年間携わっています。発足前からの事を知る者の一人としては、目的と経緯（理由）を継承しつつ、30周年時には世代交代を実現していきたいと思います。

最後になりましたが、私塾ネットのみならず業界で大いに日本を盛り上げていきたいものです。今後も子供たちのため、日本のために頑張ってまいりましょう。

# お祝い・祝辞



## 公益社団法人 全国学習塾協会 会長 安藤 大作

設立20周年おめでとうございます。この間、貴会の運営にご尽力なされた皆様と、それを支えてこられた会員の皆様に、心からお祝い申し上げます。

とりわけ、長年にわたり、研修や情報提供など学習塾事業者のサポート活動を通じて、社会に貢献されるその実績は、大きく評価されて余りあるものと思料いたします。

2020年、世界を席巻した新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を一変させました。臨時休校した学校数は約2万5000校。うち同時双方向型オンライン指導の実施はわずか5%。臨時休業前後での学力下位層を中心に勉強時間は大きく減少しました。

このコロナ禍で子供たちの学びは、大きく傷つきました。未曾有の教育危機のなかで学習塾をはじめとする民間教育に大きな期待が寄せられている一方で、学習塾は教育をなりわいとする事業者として安心で安全な成熟した産業であることを求められています。

そうした状況下において教育界の一翼を担う学習塾業界にも消費者や行政など幅広く社会から様々な要望や要請が寄せられるようになりました。

いま、社会の期待と要請に対応すべく、民間教育団体がひとつに集まり、with one voice—全員が声をそろえて動きはじめています。貴会におかれましても、あらゆる機会で私どもと一緒に活動なされておられます。

学習塾業界が大きく真価を試されているいま、社会の利益、人々の幸福のために、私たち学習塾に何ができるのか。そしてそのためにいかにして学習塾を守るのか。個々の団体の独立性を最大限に尊重しながら、共に考え、共に行動していければ幸いに存じます。

20年前、希望を胸に参集された貴会の皆様の、熱い思いと理想を長く継承され、今後もますます発展なされますよう心よりお祈り申し上げます。

## AJC 全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

二十周年に心からご祝辞を申し上げます。

二十年前に全日本私塾教育ネットワークは学習塾業界にその歴史を刻んだ伝統ある三団体が結集して、再スタートした団体として、大きな注目を集めました。島本正先生、高木幾次郎先生、長澤兵庫先生、浅沼敏夫先生、恩田三喜雄先生などたくさんの塾の先達が学習塾の発展に尽くされた功績には頭が下がる思いがあります。そしてそれらの先生方が集った塾団体が大き

くまとまって全日本私塾教育ネットワークが設立され、さらに大きな期待を持ちました。

しかし現在、教育界には大きな逆風が吹き荒れています。ここ数年の出生数は100万人割れ以降大きく落ち込んでいます。学校の統廃合、学習塾の閉塾、大学の定員割れなど教育界の厳しいニュースが聞かれないと時はありません。

さらに昨年から新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックを起こし、学習塾も学校の一斉休校・緊急事態宣言などの影響下で、自粛を要請されたり、オンライン指導をせざるをえなかつたりするなど大きな変革を迫られました。

日本は教育立国を標榜してきました。足利学校、適塾、松下村塾などや小林虎三郎の米百俵の故事を待つまでもなく町の寺子屋に至るまで、官も民も教育に打ち込み、社会を良くするために身命を賭した多くの先人の努力がありました。

これからの日本は、話せる英語教育や、パソコンやタブレットを小中学生全員に配布するなどコロナ後の減少した子ども達をどのようにしてグローバルな人材に育て上げ日本の国力を活性化させるかを考えいかなければなりません。

國も民間もそのために互いに協力し合って30年後、50年後の世界のリーダーシップをとれる人材を生み出す努力をしていくべきです。

全日本私塾教育ネットワークの皆様方の努力を期待して祝辞とします。



## NPO法人 学習塾全国連合協議会 全国会長 沼田 広慶

全日本私塾教育ネットワークの設立20周年おめでとうございます。心から謹んでお慶び申し上げます。

貴会は多くの学習塾団体の中でも抜きんでて活発な活動を展開しております。特に各種の研修会は極めて充実した成果を上げており、私自身も今までに啓発されるところが多くありました。皆様の活動に対して深い敬意を表したいと思います。また、任意団体としての自由な立場を最大限に活用し、自由闊達にして侃々諤々の議論を内外において展開してきたことは周知のことであり、会員相互の懇親とあいまって理想的な塾団体と申し上げても決して過言ではないでしょう。

まして今、日本の教育は大学入試制度の混乱を指摘するまでもなく、混迷の度を増しており、高度情報化社会への対応の遅れは国家的危機にまで及ぼうとしております。公教育が破綻すれば国家が破綻します。これは看過できません。日本の教育の流れを官から民ではなく民から官へと変えなければなりません。まさに民間における塾の教育力が試されようとしています。貴会にはその活動を通して、このような状況下にある塾業界のけん引力となっていただきたいと思います。その力があると私は確信しております。

全日本私塾教育ネットワークの益々の発展と会員の皆様の一層のご活躍を心より祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。



**東京私塾協同組合  
理事長 鈴木 幸広**

私塾ネット20周年おめでとうございます。

私が東京私塾協同組合の理事長になって5年が経ち、当東京私塾協

同組合も一昨年30周年を迎えるました。私塾ネットの皆様方とは私塾ネットができたときからのお付き合いをさせていただいており、中にはそれ以前からのお付き合いの方もいらっしゃいまして、団体は違うにしろ、子供たちへの熱い思いは同じだと常々感じております。その中でも、とりわけ私塾ネットの研修会では、一面的な見方に囚われず、様々な面からの研修を行っていることにはいつも感服させられております。

先日、ある英語教育で有名な某私立中高の先生とお話しした際に、お聞きした話の中に、「以前は中学から入学てくる生徒は英語をゼロから始められたので、うちに来た生徒は全員好きにさせることができたので、英語の成績を上げるのはとても容易だったが、今は小学校で既に英語をやっているため、入学した時点で英語嫌いの生徒が約半数いるから、マイナスから始めて好きにすることはとても難しい。」という話がありました。これは、「プログラミング教育」に関しては危惧されます。英語にしても、プログラミングにしても、塾では早い段階から楽しく取り組ませることができたので、好きにさせることもできました。私学でも同じだと思います。それを公立で始めたらどうなるでしょう?英語の二の舞になるのではないか?今の日本は、公教育のつけを私学、私塾が補うという形になってしまっているのが現状ですが、この状態が変わらない限り日本が大きく変わることはないでしょう。

以前は全く相手にしてくれなかつた都立高校の先生方も今は気軽に相談できるようになります。人が変わり、国が変わり、教育が変わっていく現代。我々も変わらなくてはなりません。そして、日本の現状も変えなくてはなりません。この時代が変わる今だからこそ、力を合わせれば変えることができるのではないか?そのためにも、それぞれの団体の良さを生かし、切磋琢磨するとともに、できることは協力して取り組み、塾団体同士が時代に合った協力関係を一段と強く築くことが必要だと思っております。

そして、とりわけその中心となって頂ける私塾ネットのご発展は必要不可欠です。私塾ネットのこれから益々のご発展を祈念してお祝いのことばとさせていただきます。

20周年本当におめでとうございます!



**埼玉県私塾協同組合  
理事長 坂田 義勝**

全日本私塾教育ネット設立20周年を迎えるにあたり、心よりご祝辞を申し上げます。

任意団体として20年という長きに亘り組織を維持運営してこられた歴代の役員の方々には衷

心より敬意を表したいと思います。

振り返りますと、貴団体は今まで全国研修大会を始め、様々な催しを実施してこられましたが、いつもながらその企画の素晴らしさには感動させられます。中でも15周年記念で講演された吉藤健太郎さんの「ロボットテクノロジーとパートナーシップ」のお話には心を打たれました。病気や身体的な問題を抱えている孤独な人たちが、会いたい人に会えて、行きたい所へ行き、社会に参加できるようロボットがお手伝いをする。彼の生き立ちとあいまって、心に残る素晴らしい講演でした。印象深い講演は、他にもたくさんありますが、紙面の都合により割愛させていただきます。

もう一つ、貴団体には素晴らしい財産があります。それは、会員の皆さんのお人柄でしょう。とにかく愉快で明るい。全国から集まって来られる先生方一人ひとりが独特のカラーをお持ちで、皆さんが会話を振る舞われたりしている姿は天真爛漫でとても印象的です。私も参加するたびに癒されます。

これからさらに25周年の節目に向かって、益々素晴らしい組織体として発展されていかれることを祈念申し上げ、お祝いの詞とさせていただきます。



**JAC 千葉学習塾協同組合  
理事長 亀山 直人**

全日本私塾教育ネットワークが創立20周年を迎えられることを、千葉学習塾協同組合を代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

初めて貴団体を知ったのは21世紀を迎えてから暫らくした頃でした。当時、私たちの協同組合が主催するスクールフェア(私学中学校・高等学校の説明会)に協賛をいただいたときでした。その時に伺ったお話では、新しい時代に相応しい柔軟かつ斬新な活動を展開するために創立された全国規模の任意団体だということでした。千葉の仲間も重複して参加された方が多く、団体間の交流も盛んであったため、比較的近い立ち位置で現在に至るまでのさまざまな活動を見せていただきました。中でもチベット声楽家であるパイメーヤンジン氏の講演やニューアイナーパーティへお誘いを受けたことは深く印象に残っています。魅力的な団体であると感じていました。

最近、ある会議で学習塾団体はどのような組織であるのが望ましいのかという話になりました。ご一緒した貴団体の会員の方から頂いたお言葉は「一人はみんなのために、みんなは一人のためになるような組織」ということでした。その時に思い出したのは東日本大震災の折に当時の谷村志厚会長が東北の子どもたちや塾の惨状を訴え現地に何度も足を運ばれていたことでした。ふたつの事から考えると全日本私塾教育ネットワークは人間を大切にする団体であると確信できました。日本を良くするには人を変えなければならず、人を変えるのは教育だけであり、その教育を支えてきたのは学習塾である。そしてこれからも支えてゆくという理念が実践されているのは、歴代

会長・理事長の方々をはじめとする会員の皆様のご努力の賜物であると、改めまして深く敬意を表しております。

昨年来、コロナ禍というこれまでに経験したことのないこのような状況下に置かれています。塾業界も苦しい状況に置かれています。千葉の協同組合ではガイドラインを示すとともに情報交換を密にし、個々の組合員塾では感染防止を心掛けながら対面授業や遠隔授業を行い、生徒・保護者・従業員・地域の方々に対するきめ細かく対応しています。

しかし、これを機会に塾団体の新しいあり方、個々の学習塾の形を改めて考えていく必要があるのではないかでしょう。私は塾業界全体の発展に多大な貢献をされてこられた貴団体と手を携えて、今後こうした事を模索して行ければと思っています。

最後になりますが、全日本私塾教育ネットワークの今後のさらなる飛躍・発展をご祈念申し上げます。



### 関西私塾教育連盟 理事長 鳥枝 義則

私は、三十年前、孤独に耐えかねて関西私塾教育連盟の門を叩きました。当時の理事長は中曾根康弘氏の知友でもあった中川史郎氏で、のちに全国学習塾協会の会長を務められた石井正純氏を初め、綺羅星のごとく著名な関西塾人が参集しておられ、関私連で塾人としての生き方を一からたたきこまれました。

しかし、私を一番大きく変えたのは、関私連が全国私塾連盟（全塾連）、全日本私塾協会（PTF）と共同開催していた「塾団連」での、私塾ネットの先生方、大恩人たちとの出会いでした。

仰ぎ見る巨木、安藤進理先生、平林治先生、佐藤勇治先生の人間としての偉大さに接し、初めて塾人としての自覚を持つことができました。

同郷の山口恭弘先生、城忠道先生からの励ましに、初めて私の中に自信が芽生えました。

若い谷村志厚先生、湯口兼司先生、関史郎先生、河浜一也先生、北川健治先生の能力の高さとご活躍ぶりは、怠け者の私をいつも叱咤激励してくれました。

まだまだ足元にも及びませんが、今の私があるのは田舎者の私の目を大きく啓かせてくださった私塾ネットの先生方のおかげです。

全国の塾人が仰ぎ見る巨大な星座、私塾ネットの先生方に心より感謝し、皆々様の益々のご発展を強くご祈念申し上げます。

故實吉幹夫先生は、東京私立中学高等学校協会の副会長の要職を、長年にわたりお務めになられました。また、東京女子学園の理事長校長として私学の経営にあたられ、校長と協会役員の両面のお立場で、私学と学習塾とのパイプ役を果たされておられました。首都圏における学習塾と私学の交流の歴史は30余年の時を経ますが、その嚆矢といえるのが實吉先生でした。

令和2年7月1日、まことに悲しいことに實吉先生は鬼籍に入られました。8月に執り行われたお別れの会には、コロナ下にも関わらず、500人を超える参会者を数え、故人の遺徳の大きさを実感させられました。

昨年4月に開催を予定していた私塾ネットの20周年記念大会には、私学代表としてお越しいただきたい旨をお伝えしていました。以下の祝辞は私塾ネット広報20周年記念号のために寄せられていたものです。故人の一文を掲載するのはいささか異例とも思われますが、あえて掲載をさせていただき、實吉先生の遺徳を改めて偲びたいと思います。（編集部）



### 一般財団法人 東京私立中学高等学校協会 前副会長 實吉 幹夫

「全日本私塾教育ネットワーク」が、役員会員の方々の変わらない情熱に支えられて、設立20周年記念大会を迎えたことに心より敬意を表しく存じます。

思えば21世紀という時代の変わり目の2001年、これまで塾経営の理念を共有して組織していた全塾連・PTF・日私会の三団体が大同団結して、私塾ネットを設立されました。私塾ネット設立総会が品川プリンスホテルで開催された日の、先生方の高揚感に満ちたお顔の一つ一つが懐しく思い起こされます。

教育は万人がそれぞれ持つ経験値を基に教育論を語り、一億総評論家と化した集団が存在し、素人は一人もいないというのが現状です。技術革新の波が押し寄せ情報が溢れている社会は、子供達の未来を予測することのむずかしさを大人達に突きつけています。私塾ネット会員の皆様は、常に研修に重きを置いた活動を展開され、日夜研鑽に勤めておられることは、児童生徒学生達にとっては、自分の未来を示唆してくれる存在として、その信頼度は増え大きなものとなっていくでしょう。自分の未来を生きる為の素養を身につけようと、今の時代に留学している「未来からの留学生」の為に活動が継続していくことに期待しています。東京私立中学高等学校協会も、「研修なくして私学なし」の理念をもと、東京私学教育研究所を中心として、各種の研修会を実践しています。これからも共に手を取り合って次の10年20年に向っていかなければと祈念して、お祝いの詞とさせていただきます。



## 全国塾長 職員研修大会

# 10年 の足跡

年月日	場所	テーマ	講演者	広報掲載号
第9回 H22年4月25日	青森県八戸市 八戸グランドホテル	複数の視点から見る「個」の対応	佐藤 大介氏 小牧温泉青森屋総支配人	第30号 2010.5.10
大震災のため中止 H23年4月24日	東京都 浅草グランドホテル	全国塾長・職員研修 10周年記念 『PISA型教育を超える人間力を塾が如何につけるか?』	藤原 和博氏 杉並区立和田中学校前校長	
第10回 H24年4月22日	東京都 浅草グランドホテル	激動し続ける日本、これからの人づくり ～果たして塾や学校は今までの在り方でいいのか?～	上甲 晃氏 志ネットワーク 青年塾塾頭	第38号 2012.5.10
第11回 H25年4月14日	香川県丸亀市 オークラホテル丸亀	「人とそして書との出会いどうせ無理をぶつ飛ばせ！」	喜多川 泰氏 作家・聰明舎代表	第42号 2013.5.10
第12回 H26年4月13日	東京都 アルカディア市ヶ谷	まず行動する。志を携えて。	吉岡 秀人氏 NPO法人ジャパンハート代表・医師	第46号 2014.5.10
第13回 H27年4月19日	東京都 東京ガーデンパレス	気になる大改革 英語教育	今村 健吾氏 ベネッセコーポレーション	第50号 2015.5.15
第14回 H28年4月17日	東京都 東京ガーデンパレス	心安らぐ温かな時間 ～ハイテクよりも使いやすさと親しみやすさ～	吉藤 健太郎氏 /オリィ研究所所長 分身ロボット「OriHime」開発者	第54号 2016.5.20
第15回 H29年4月16日	東京都 アルカディア市ヶ谷	～教育経済学。エビデンス。塾への提言～ 学歴では年収は変わらない。子どもはゲームをさせてOK。	中室 牧子氏 /教育経済学者 慶應大学環境情報学部准教授	第58号 2017.5.19
第16回 H30年4月22日	東京都 きゅりあん品川	夢と絆 ～翻弄された運命の中で～	蓮池 薫氏 北朝鮮拉致被害者	第62号 2018.5.18
第17回 H31年4月21日	東京都 東京ガーデンパレス	笑顔は人を幸せにする最高の薬です ～未来につながる授業術～	木下 晴弘氏 (株)アビリティトレーニング代表取締役	第66号 2019.5.17

## 我が心の師・上甲晃先生の教え

### 第10回大会 仲野 十和田(ナカジュク・東京都)

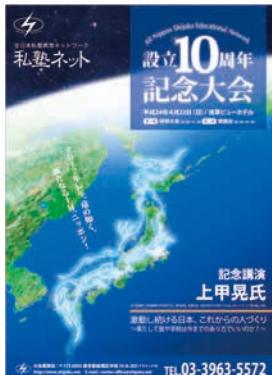
奇しくも上甲晃氏を迎えたのは、2012年、私塾ネット設立10周年の会の時です。今回20周年記念もコロナの影響で1年延期となりましたが、10周年も東日本大震災の影響で同じことが起こっていました。上甲氏との出会いは、育英ゼミ(根室)の40周年記念式典でした。一番前で誰よりも背筋を伸ばして座っている姿、司会者からの紹介をうけて「ハイ!」と大きな声で返事をして登壇する姿は新鮮な驚きでした。翌朝ホテルの朝食会場で食事をしていると、入り口で「おはようございます」という元気な声が聞こえます。上甲氏でした。私はその場

で、「そばで勉強させてください」と懇願し、上甲氏が主宰する「青年塾」に入塾させていただきました。「青年塾」は震災直後から積極的に支援活動を行っていました。松下幸之助氏が将来を憂いて日本のことを真剣に考える政治家を育てるために作った「松下政経塾」で10年間塾頭をされていた経験を活かし、民間の人に対して門戸を開いた塾がこの「青年塾」です。私は16期生、LAPIS鎌ヶ谷(エリア関東)の田中宏道先生は18期生で入塾しています。とにかく共同生活を「主体的」に送る訓練をしていきますが、今の学生たちに要求される「思考力」「判断力」「表現力」を鍛えてくれます。青年塾時代、上甲氏の言葉で私の心に強く残っているものがあります。

ある日、私は上甲氏に「感動を与える教育をしたいのですが、どんなことをすればよいでしょうか?」と質問しました。氏の答えは「姿勢よく勉強し、元気な挨拶ができ、人の話を良く聴くことを、これでもか!という位、徹底して行えば周りは感動するだろう。イベント事の感動はその場は大きな感動を得るかもしれないけど、すぐ薄れていくし、継続して行うことが難しいよね」というものでした。この言葉は「基幹学力」と位置づけ、自塾の教育指針になっています。

“Old be ambitious!”

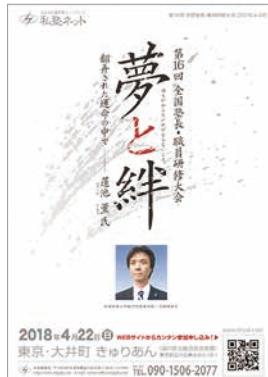
「年よりが若者におんぶにだっこではだめだ!」と言って、今日も上甲氏は精力的に動かれていると思います。



# 蓮池薰先生ご講演レポート

## 第16回大会 中村 直人(中村学院・神奈川県)

2018年4月22日大井町・きゅりあんにて全日本私塾教育ネットワークの全国塾長・職員研修大会&懇親会が開催されました。今回の講演者は、1978年夏に日本で拉致され、その後24年間を北朝鮮で過ごし、2002年に日本に一時帰国の形で戻ってから本年で16年目になる、あの蓮池薰先生です。現在は、新潟産業大学経済学部准教授をしておられます。午後3時に講演が始まり、そこから1時間半、熱をもってひたすらお話を続けられました。実体験に基づくその驚くべき事実、北朝鮮の内情等、初めて聞くそのお話に、会場は私語一つなく身じろぎもせずただ聞き入っていました。



### 『夢と絆』～翻弄された運命の中で～ 講演 蓮池 薫先生

「我々の家族は全員帰ってくることができたが、その2004年に自分の子供2人が帰って以来まだ誰一人帰ってきていない」。その先の読めない、見えない難しさはあるものの、状況が（米国トランプ大統領の北朝鮮との対話を模索するなど）少し動き始める兆候があるとのことであった。

20歳の中央大学生だった蓮池さんは、夏休みで実家に戻っていた1978年7月31日に今の奥様と柏崎の海辺でデートしている時に、北朝鮮の工作員達に拉致される。人気のない海岸で前から来た男がタバコの火を借りに来たので火を付けようとしたところを別の男に後ろから顔を殴られ、押さえつけられた。そのまま夜を迎え、大きな袋に入れられて沖にいた高速工作船に乗せられ、薬で眠らされたまま北朝鮮へと連れて行かれた。

その後、平壤付近のスパイ養成所でもある調査部のアジト「招待所」へ連れて行かれ、立派な革命家になれと教育を受けさせられる。拉致者をスパイに育成して各国に送り込み、情報収集や破壊活動・テロ行為をさせるためである。死にたいと考えたこともあるが、こんな所で死んでたまるかと思い、朝鮮語を学ぶように勧められたことで、いずれ役に立つと思い学習に励む。数ヵ月後には会話もできるようになった。24年の北朝鮮生活の中で、3つの大きな変化があった。

招待所での毎週あった思想教育がなくなった時、1度目の変化が起きた。引越しをさせられた後に結婚をさせられることになる。しかも、なんと相手は一緒に連れて行かれた彼女だった。拉致されて1年9ヵ月のことである。ただし、日本語やこちらへ来てのことは話すと釘を刺される。

翌年に日本語の教育係になるも、88年に中止。その年のソウルオリンピック妨害のため、前年に大韓航空機爆破事件が起

きたせいと思われる。ここで2度目の変化が起きる。今度は作るなどと言われていた子供を作ってもよいとの許可ができる。そして娘と息子の二人を授かる。

1990年に後ろ盾のソ連(91年崩壊)が敵国韓国と国交正常化をしたことにより、金日成(イルソン)は国連に加盟し、日本と国交を計るが拉致問題などで頓挫。94年金日成の死後、大飢饉が起き経済が疲弊する。後継の金正日(ジョンイル)総書記がアメリカ、日本との距離を縮めて経済協力を手に入れようとする。しかし、アメリカとはうまく行かず。あせっていたのか日本と戦後の請求権を放棄する代わりに早く経済協力をと考えていたようで、小泉総理の2002年の訪朝によって金正日総書記が拉致を認め、平城宣言が出される。日本側は核・ミサイル・拉致の解決を望むのに対し、北は国交正常化・経済協力を取り付けるという内容のものであった。北も拉致問題の進展がなければ、国交正常化は動かないとして、拉致を認めることがとなる。このことが3度目の大きな変化を起こす。地村・蓮池夫妻の一時帰国という形になっていました。

様々な駆け引き、北朝鮮からの不合理な調査書、帰国に強要される嘘、再調査の中の誤魔化し。拉致の話だけでなくその裏事情。蓮池さん家族の葛藤や日本に戻ったお子さん達が意外に早く日本に順応できことなど生々しいお話を聞きました。



最後に、日本の拉致された家族のかたがたを思えば、一刻の猶予もならない。表題の夢は、自由であり自分のことを自分で決められる自由です。拉致された北に残されている方達に帰国してもらうこと。そして断ち切られた祖国・家族との絆をとりもどし、残った人生を生きがいを持って過ごしてもらいたいということです。拉致家族も高齢化が進み、解決は残された少ない時間との戦いなのです。日本政府の一層の努力また多くの方々に支援をしていただきたいとのことでした。

小学生の講演などで、よく悪い北朝鮮をぶつ瀆せなどの声も聞くが、北の悪辣な指導部と普通の庶民を同一視しての敵視はいけない。日本の朝鮮の人たちへのヘイトスピーチもいけない。いずれは手を取り合っていける関係になるべきであるとおっしゃいました。

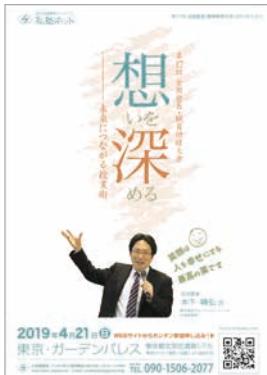
先生は、その後の各グループごとの討論の輪にもお入りください、懇親会にも参加されました。懇親会が盛り上がる中、興に乗られて北での体験として、マージャン・ゴルフの道具を作りして遊んだことが心を和らげる一助になったという珍しい話も披露されました。

蓮池先生、すばらしいご講演本当にありがとうございました。

# アビトレ木下晴弘先生と共に歩んだこの20年

第17回大会

田中 宏道 (LAPIS鎌ヶ谷・千葉県)



2001年、平成13年、京都の成基学園で木下先生を初めて見た！そう、お会いした、お目にかかったではなく、木下先生を「見た！」のです。

青木清先生の「青木フォーラム@成基学園」での勉強会。佐々木代表のご紹介で現れた木下先生。そこで木下先生は授業の一端をパフォーマンス（パフォーム）され

たんです。生徒への声のかけ方、声の出し方、声のメリハリ、笑顔。。。衝撃でした。。。」「最高峰の授業はこれだ」という佐々木代表のご紹介。まさしく最高でした。

それから4年、2005年（平成17年）。LAPIS鎌ヶ谷を立ち上げて3年目。見つけました！木下先生主催の勉強会を。（株）アビリティトレーニング年間セミナー@大阪。5月から翌年4月まで毎月1回の計10回。朝10時30分～12時30分。たしか8万円か9万円??

通いました！毎月大阪まで。前日教室で2時間ほど仮眠もしくは徹夜。5時7分の始発で東京駅へピュウ。6時始発の新幹線のぞみ。先頭1号車。初めて新幹線の自由席は普段ガラガラだと知りました。研修では毎回レポート用紙は10枚以上。地下鉄すぐに新大阪駅へ向かい、5時からの授業に間に合うように戻ってくる。頑張りました！

この頃から私塾ネットの先生方と深く知り合っていれば、前泊して後泊してあと2～3日ゆっくりするなんてこともあったのでしょうか、この頃はまだ千葉学習塾協同組合（JAC）の先生方としか深いお付き合いはなく、前泊などの知恵が働きませんでした（笑）。

学びをかいつまみますと。。。

## 1. 基本的な考え方「自分が源泉」

「やり方よりもり方」

「規範（ノーム）=暗黙の内に了解されているルール→悪しきノームを拭拭し、良きノームを自ら創作する」

「感即動=感動すればすぐに行動する。感動を生め。ただし感動は3日も続かない。」

## 2. わかりやすい授業

「パラダイムシフト=考え方、視点をガラッと変えること。無意味に意味がつける。複雑から単純へ。見えないものを見せる。これらが感動を生み、興味を持つようになる。2種類のパラダイムシフト=ファンパラダイムシフトとインタレストパラダイムシフト」



「話術 強弱高低／無言の間／七五調／一時に一事／アトラクト技法」

「板書術 生徒が書ける正八面体と正二十面体／セグメント／転記指示／立ち位置」

## 3. 生徒・保護者・スタッフとの関係作り

「プラスの波動//YouメッセージとIメッセージ／目線の高さ／讃め方／叱りすぎたら。。。／疑問形で命令する」「熱き入塾説明会」

「コーチングが人を動かす」「orの抑圧とandの才能／陰中陽と陽中陰」

「経営品質と顧客満足 ビジョナリーカンパニー」「笑顔は人を幸せにする最高の薬です。」



当時私は塾人として何をどうすればいいのかを思い悩み、さまざまありました。いくつか塾団体に加入させていただき、素晴らしい先輩方から多くを学ばせてもらっていたる最中に出会えたのが木下晴弘先生です。木下先生は先輩方からの多くの学びを論理的に体系づけてくださったのです。

こんな素晴らしい学びを関西だけに留めておくのはもったいない！関東の先生方にも知りたい！と木下先生を4月の私塾ネット全国研修大会にお招きし、翌5月から東京（中央大学駿河台記念館：担当は仲野理事長）と千葉（LAPIS鎌ヶ谷）で毎月1回、木下先生の勉強会を全10回、開催することになったのです。受講者は計60人ほど。その後は中国・四国でも研修会が開かれたようですので、木下先生の熏陶を受けた私塾ネット関係者は多数います。

木下先生に出会うまでの15年、学びを自塾で活用させていただいて20年。木下先生が居てこそ塾人生35年です。諸先輩方、そして木下先生、ありがとうございます！今後もこの学びを深めていけたら有り難いです。





# 10年の軌跡

年度	月日	主催	名称	場所	会場
2011 H23	1月23日	関東	ニューイヤーパーティ	千葉	幕張「リゾート&ホテル」
	4月24日	関東	総会・懇親会	東京	浅草「浅草ビューホテル」
	4月24日	センター	代表者会議	東京	浅草「浅草ビューホテル」
	5月23日	四国	職員研修会	徳島	阿波観光ホテル
	6月9日	関東	定例会・定例研修会	東京	京北中学高等学校
	8月16日	センター	第I期石巻出前寺子屋	宮城	開成1番地仮設 開成第11団地
	8月28日	東北	不登校フォーラムin八戸	青森	八戸ポータルミュージアム
	9月4日	関東	懇親旅行	静岡	河口湖貸しコテージ
	10月23日	関東	私学情報交換会	東京	市ヶ谷「アルカディア」
	10月30日	四国	秋の研修会	愛媛	大和屋本店
2012 H24	2月19日	センター	第II期石巻出前寺子屋	宮城	仮設開成ささえい拠点センター集会所
	4月21日	四国	春の研修会	千葉	誉田進学塾
	4月22日	センター	設立10周年記念大会	東京	浅草「浅草ビューホテル」
	4月22日	関東	関東総会	東京	浅草「浅草ビューホテル」
	4月22日	センター	代表者会議	東京	浅草「浅草ビューホテル」
	9月2日	関東	懇親旅行	静岡	伊豆クリスタル迎賓館
	10月21日	関東	私学情報交換会	東京	東京ガーデンパレス
	10月28日	四国	秋の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	11月11日	中国	大忘年会	広島	シェラトンホテル広島
	4月14日	センター	全国塾長・職員研修大会	香川	オークラホテル丸亀
2013 H25	4月14日	センター	代表者会議	香川	オークラホテル丸亀
	5月16日	関東	関東総会	東京	中大駿河台記念館
	7月7日	東北	定例会	青森	八戸プラザホテル
	9月1日	関東	懇親旅行	静岡	伊豆クリスタル迎賓館
	10月20日	関東	私学情報交換会	東京	東京ガーデンパレス
	12月8日	四国・中国	秋の研修大会	山口	岩国国際観光ホテル
	3月16日	関東	ファミリーパーティー	神奈川	武蔵小杉「リッジモンドホテル」
2014 H26	4月9日	東北	総会	青森	一伸進学ゼミ
	4月13日	センター	全国塾長・職員研修大会	東京	アルカディア市ヶ谷
	4月13日	センター	代表者会議	東京	アルカディア市ヶ谷
	5月11日	四国	春の研修会	香川	観音寺グランドホテル
	6月12日	関東	定例会・定例研修会	東京	中大駿河台記念館
	7月10日	中国	研修会	広島	E-juku はやし塾
	8月31日	東北	エリア東北研修会	青森	アップルパレスホテル
	9月7日	関東	懇親旅行	静岡	伊豆クリスタル迎賓館
	9月25日	関東	定例会・定例研修会	東京	ナカジユク板橋教室
	9月28日	四国	秋の研修会	愛媛	リーガロイヤルホテル新居浜
	10月19日	関東	私学情報交換会	東京	東京ガーデンパレス
	11月13日	関東	定例会・定例研修会	東京	中大駿河台記念館

※広報で紹介された主な私塾ネット主催（一部共催を含む）の行事を一覧表としてまとめました。

年度	月日	主催	名称	場所	会場
2015 H27	3月15日	関東	ファミリーパーティー	東京	隅田川・屋形船
	4月19日	センター	全国塾長職員研修大会	東京	東京ガーデンパレス
	5月21日	関東	定例研修会	東京	中大駿河台記念館
	5月24日	四国	春の研修会	香川	湯口塾研修センター
	6月17日	関東	定例研修会	東京	中大駿河台記念館
	7月12日	関東	定例研修会	千葉	進学塾ベルゲン、青葉学院
	9月17日	関東	定例研修会	東京	人間教育渡辺塾
	10月25日	関東	私学情報交換会	東京	東京ガーデンパレス
	11月1日	四国	秋の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	12月13日	関東	定例研修会	東京	アパホテル板橋駅前
2016 H28	4月17日	センター	全国塾長職員研修大会	東京	東京ガーデンパレス
	5月22日	関東	ファミリーパーティー	神奈川	はとバス(横浜・鎌倉)
	5月29日	四国	春の研修会	愛媛	道後温泉ふなや
	9月4日	東北・関東	合同研修会	青森	下風呂温泉郷 三浦屋
	10月23日	関東	設立15周年記念大会	東京	東京ガーデンパレス
	11月20日	関東	私学情報交換会	東京	ナカジュク板橋教室
	12月11日	四国	秋の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	12月18日	関東	定例研修会	東京	ナカジュク板橋教室
	4月16日	センター	全国塾長職員研修大会	東京	アルカディア市ヶ谷
2017 H29	4月16日	センター	代表者会議	東京	アルカディア市ヶ谷
	4月16日	関東	総会	東京	アルカディア市ヶ谷
	5月28日	四国	春の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	6月18日	関東	ファミリーパーティー	千葉	はとバス(房総)
	9月3日	関東・東北	懇親旅行	神奈川	ステップ「シーサイドラボ」
	12月10日	関東	私学情報交換会	東京	ナカジュク板橋教室
	4月22日	センター	全国塾長職員研修大会	東京	大井町「きゅりあん」
2018 H30	4月22日	センター	代表者会議	東京	大井町「きゅりあん」
	5月27日	四国	春の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	6月17日	関東	納涼会	東京	池袋PARCO
	9月2日	関東・東北	懇親旅行	神奈川	ステップ「シーサイドラボ」
	10月21日	関東	秋の研修大会	東京	御茶ノ水「ワム貸会議室」
	11月11日	四国	秋の懇親旅行	高知	土佐御苑
	12月9日	関東	私学情報交換会	東京	ナカジュク板橋教室
	4月21日	センター	全国塾長職員研修大会	東京	東京ガーデンパレス
2019 R1	4月21日	センター	代表者会議	東京	東京ガーデンパレス
	6月9日	四国	春の研修会	香川	オークラホテル丸亀
	7月7日	関東	ファミリーパーティ	東京	水陸両用バスツアーセンタ
	9月1日	関東・東北	懇親旅行	神奈川	ステップ「シーサイドラボ」
	10月20日	関東・塾全協	秋の研修大会	東京	御茶ノ水「ワム貸会議室」
	12月8日	関東・塾全協	合同研修会	東京	御茶ノ水「スタディープラス(株)」
	7月8日	関東	オンライン学校説明会	WEB	WEB
2020 R2	7月27日	関東・東京私塾協同組合	第2回オンライン学校説明会	WEB	WEB
	10月18日	関東	秋の研修大会	東京	スタディープラス(株)&WEB

# | エリア通信



**エリア東北代表 安藤水無子  
(Andy's・青森県)**

私塾ネット20周年おめでとうございます。前回の10周年記念大会が東日本大震災で1年延期となり、今回また20周年記念がコロナウィルスのため1年延期となってしまい、私たちが震災前に経験していたような当たり前の日常というものが、いかに貴重なものであったかを実感せんにはいられません。

この春、私の娘が高校生となりました。10年前は保育園の年長でしたので、子どもの成長を通して10年がたったのだなあと改めて感じます。私も年齢が40台から50台になり、どちらかといえば「こうでなければならぬ」と、かなりぎちぎちの考え方をしていましたが、子どもの成長と自分自身が歳をとったことにより、ようやく考え方も方法も、様々あって良いのだと思うようになりました。

今年の青森県の県立高校の倍率は1.00倍と過去最低となりました。ここ八戸市の地域一番校といわれる高校ですら1.07倍と、倍率発表を見たときは目を疑いました。中3生の生徒数100名ぐらいの中学校で約3分の2の生徒が、私立高校専願となる学校があつたりと（青森県では県立高校を不合格となった生徒が私立高校へ進学します）驚くべきスピードで、子どもに無理をさせない、受験すらさせない家庭が増えています。わざわざ塾へ通わなくても高校へ合格出来るのであれば、これから塾は一体どうなるのだろうと考えてしまいます。しかし、今年受験を終えた生徒の保護者から「きちんと頑張るべき時に、こんなに頑張る機会を与えていただきありがとうございます。高校に合格出来たことももちろんうれしいですが、最後までみんなに頑張れた子どもを見ることができたことが、一番親として嬉しいです。」との言葉をいただき、「今しかできないことをきちんとやらせたい」保護者が少なからずいる中で「頑張ればできる」ではなく、「頑張ったから出来たんだ！」の経験を子どもたちにこれからも与えていきたいと思いますし、その後の生徒たちの成長もずーっと、応援したいと思います。

さあ、これから私塾ネット30周年にむけての10年がどういう10年となるのか、少しわくわくしながらこの原稿を書いています。下の子どもも成人し、人生の第四カーブも曲がったところの10年後、今度はどんな景色が見えるのでしょうか。

全国の先生方、これからもよろしくお願い致します。



**エリア関東代表 渡辺 浩  
(渡辺塾・東京都)**

私塾ネット20周年、誠におめでとうございます。個人的に思うことは、この20年はあつという間の20年だった、という事です。思い返せば10周年の時は東日本大震災が起きて、記念大会が1年延期されました。そして、今回の20周年もコロナウィルスの影響で1年の延期を余儀なくされました。天災ばかりは誰が悪いわけではないので仕方のないことですが、30周年の時はスムーズに平和に行われることを願っています。

さて、今から20年前（正確には21年前）に全日本私塾教育ネットワークが立ち上りました。それ以前に旧全塾連、PTF、日私会それぞれの理事長先生と事務局長先生が何度も話し合いを重ね、

立ち上げに至ったという事をお聞きしております。そのご苦労と努力には頭が下がります。特に故山口先生のお人柄と情熱でこの3団体が結束に至ったのではないかと思います。そのご意志は間違いなく僕たち後輩に伝わっていると確信しております。これから25年、30年と続けていくよう努力してまいります。

また、私個人の話を少しだけ述べさせていただきますと、私塾ネットの立ち上げから2年後に、私塾ネット関東の総務部を任せられました。まだ30代前半で、旧PTFの会合にもほとんど顔を出したことすらない若造に事務局を任せると、いうのは当時の谷村理事長や仲野センター事務局長からすれば大きな賭けだったと思います。しかし、お陰様で現在私塾ネット関東代表という重責を2期務めさせていただきました。来月は役員改選で新代表が選出されるわけですが、私塾ネット関東でやり残したことが山ほどありますので、最終的にはエリア関東総会で承認されることではあります。もう1期務めさせていただきたいと密かに思っております。コロナウィルスの終息もまだ先が見えません。そのような時だからこそ今一度任意団体の存在意義を發揮し、会員塾様は勿論、それぞれの塾の生徒さんや保護者の皆様にも有益な情報を提供し、塾人としてのプライドと責任の下、汗をかかせていただきます。先生方、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、今自分がこうして学習塾を続けられているのも私塾ネットのお陰です。町の小さな個人塾の塾長が全国の大手塾の塾長先生をはじめスタッフの先生方や、地方の先生方と一緒に繋がれたのは正しく私塾ネットに所属していたからです。

『私塾ネットの「ネット」は絆である』と発足当初から言われているこの言葉を胸に、次世代の先生方に絆を紡いでまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**エリア関東 センター監事 加藤 実  
(総合教育研究会・東京都)**

**私塾ネットの20年を振り返る**  
2020年4月19日「ガーデンパレス」に於いて「私塾ネット設立20周年記念大会」が計画されていたのであるが、新型コロナウィルス感染拡大により中止となってしまった。私の感覚で言うと「えっ、もう20年も経ったの？」と。時の流れは早いものである。ここで設立の経緯、私塾ネットの20年を振り返ってみたい。

1998年6月23日銀座「新聞会館」にて第一回の「合同検討会」開催、1999年3月8日の第五回まで開催された。

2000年6月2日浦和市文化センターで第一回の「塾ネット設立準備委員会」開催された。これは合同を前提とした会議である。2001年4月26日東京駅「八重洲俱楽部」での第十一回まで行なわれた、計16回もの検討会、委員会を経て2001年6月3日「品川プリンスホテル」にて全国私塾連盟（全塾連）、全日本私塾協会（PTF）、日本私塾会（日私会）の在京三団体が大同団結して「全日本私塾教育ネットワーク」（私塾ネット）が結成されたのである。難産であった。私は記録が残っている限りにおいては「合同検討会」2回、「設立準備委員会」全11回、合計13回は出席している。メリットはどうの、デメリットがどうのと大変であった。が、関東に強い全日本私塾協会（PTF）、日本私塾会（日私会）、全国組織の全国私塾連盟（全塾連）三団体の合同は避けて通れない状況であった。合同当初は「うまくいくものか、すぐに分解するだろう」と陰口を叩かれていたという。が、合同後20年である。現在関東で若手が活躍していることからも大同団結は正しかったと確信している。特に関東では渡辺先生が関東代表として活躍中である。青森でも若き安藤先生が関

御大の元で活躍中。四国では近藤先生、中国では西本先生がご活躍と嬉しい限りである。合同会議に参加されていた、今は亡き落合先生、平林先生、立脇先生、安藤先生に今後も「私塾ネット」を見守っていただきたいと願っている。

さて執行部であるが、初代理事長は山口先生、二代目谷村先生、三代目鈴木先生、四代目湯口先生、五代目仲野先生と引き継がれてきた。「センター事務局」は仲野先生、石川先生、鈴木先生、中村先生、長江先生と引き継ぎが行なわれてきた。これからは次の世代を育てていかなければいけない。「知の伝達」は最重要課題であろう。

「私塾ネット広報」についてあるが、第一号から第6号までは私加藤が担当、7号からは平林先生を編集長として引き継ぎが行なわれた。15号から監物先生が広報部長、38号から大住広報部長、33号から谷村先生が編集長。70号から「デザインオフィスズキ」の鈴木学さんがデザインを担当されているようだ。なかなかの出来映えだ。これからもよろしくお願いしたい。

このところコロナ感染症のため会議もできないが、ズームによる私学の学校説明会や研修会が開催された。また会員同士の情報交換を促すためのマーリングリスト構築も行なわれている。コロナが収まるまでメールやズームでガンガン研修会を実行しようではないか。今後の発展が大いに期待されるところである。



### エリア中国代表 西本雅明 (パワーゼミ西本・広島県)

20周年おめでとうございます。新型コロナが怖くて、まだ新幹線に乗れませんが、4月18日の全国大会へはWEB参加する予定です。モニター越しではありますが、会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。関東の先生方は普段以上にご準備にご苦労なさったことでしょう、有難うございました。

さて、ついに春がやってきました。塾運営の先行きは不安で仕方がないのに、春というだけで「桜が咲いた」「桜を見に行かねば」と浮かれています。やっぱり僕はバカですね。頭の中に春が住み着いているようです。先日、中国支部の定例会があり、新年度スケジュールの確認と研修の内容について話し合いました。もちろん4月の全国大会の案内も、ちゃんとしましたよ。しかし、2020年度はZOOMを使ったWEB会議ばかりでしたので、参加者は普段の半分でした。WEB会議はどうしても油断してしまいます。新年度はぜひ新幹線に乗りたいと思います。

今年度の中国支部の研修は「県立高校入試選抜制度の改革」についてです。講師は広島県教育委員会「学びの変革推進部」の方を勝手に予定しています。来てくれるかな? 担当は川濱先生(学習共同体)にお願いしましたので、剛腕ぶりを期待しています。広島県は令和5年度から入試制度が大きく変わります。(学力検査:調査書:自己表現=6:2:2)になるそうです。今までにはほぼ(学力:調査書=1:1)であったのが、より実力勝負の入試になるようです。また、調査書に関しては(1年生:2年生:3年生=1:1:3)になり3年生重視になります。自己表現は「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」がどのくらい身に付いているかを見る、らしいです。自己表現カードを30分で記入し、5分間の自己PRの後、質疑応答があるようです。これからは「嘘でも良いから、イイこと書いとけ。」と、嘘つきを育てなければならなくなりそうです。かわいい嘘つきは高得点がつき、優しい正直者には厳しい、嫌な世の中になりそうです。

余談ですが、僕が監督兼選手を務めるソフトボールチーム「Teachers」の4月4日に行われる練習試合では、ジャンケンで守備位置と打順を決めることにしました。ピッチャーで4番の座を目指して今はジャンケンを鍛えています。



### エリア四国 小野 昭 (小野塾・香川県)

私塾ネット20周年おめでとうございます。これまでの諸先輩方のご尽力に感謝をいたします。おかげ様で、我々会員は情報交換をしたり、おしゃべりをしたりすることで仕事へのモチベーションを向上させることができ、大いに役立っています。ありがとうございます。ここ1年は皆様のお顔を拝見できておりませんので、またお会いできる日を楽しみにしつつ、次は30周年に向かって盛り上がりでいきますよう私も精進してまいります。皆様今後とも宜しくご指導お願い申し上げます。

さて、自塾の近況報告をもってエリア通信とさせていただきます。香川県の公立高校入試に向けて、中学3年生対象の「日曜特訓」をご紹介させていただきます。入試までの毎週日曜日を5回、模擬試験を行います。入試本番に合わせて、朝9時スタートです。午前中は国語・数学・社会午後からは英語・理科です。これも入試と同じです。生徒の皆は、制服で来てもらっています。そして、服装検査をします。頭髪、名札、校章、組章、ソックス等の項目があります。また、保護者様も本番に向けて、弁当を作っています。つまり、生徒も保護者も本番が6回目ということです。本番に近い感覚を5回味わうことで、当日は平常心で臨んでもらいたいものです。また模擬テストは、しり上がりに合計点が伸びるように、難しめのものからとりくんでいます。偏差値は出ませんから、合計点で一喜一憂します。合計点が伸びて、自信を持って本番に臨んでもらいたいと考えています。日曜特訓の締めは、間違い直します。ここに未来的得点源が隠れているわけですから、先生も解説授業に熱が入ります。先生方も休日にもかかわらず朝の8時30分出勤から、夕方5時頃まで大変です。みんなでシフトを組んで何とか乗り切っています。余談ですが、その後6時ごろから飲むビールは激旨です(笑)。

またこの日曜特訓には別の側面があります。中学3年生の3月分売上は、ほぼゼロとなります。高校入試が3月9日ですから、直前まで授業をしてもほぼゼロです。この売り上げのカバーを日曜特訓がしてくれます。

話を香川県公立高校入試に戻させていただきます。本年度の入試はコロナ対策追試が設けられました。つまり本試、追試、さらにコロナ対策追試と3段構えです。コロナ対策入試は、英語・数学・国語の3教科で英語のリスニングはありません。会場は香川県で1か所だけです。原稿を書いています本日3月18日は、合格発表の日でした。各ご家庭は人生の一つの節目を迎えたことだと思います。我々職員一同も、職員室で待機したり、ビラ配りに行ったりしつつ、バタバタな一日でした。今夜のビールも旨いはず(笑)。

さて、生徒募集も気になります。小野塾では1月・2月・3月と1か月無料体験授業を行っています。今日現在では、昨年と同じ程度の横ばいです。これから、3月・4月と募集が続けます。明るく・楽しく・元気よく。広告チラシに頼りすぎることなく、内部からの口コミを大切にしていきたいです。やはり、内部の生徒や保護者からの信頼をいかにやりがいにしているかがポイントではないでしょうか。職員室では、職員同士が生徒さんの問題点や改善点を気軽に、躊躇なく話せるように、私自身も務めて明るく前向きにしたいものです。

今春、中学部の教科書改訂にからみ、教材選択にも気を使っているところです。いかに学習効果があり、いかに仕事がしやすいかの2つのポイントで、2月17日社内で決定しました。まもなく、選定したテキストを使っての授業が始まります。落ち着いたスタートになってほしいものです。最後にはなりましたが各先生方におかれましては、大変お忙しくされていることと思いますが、どうか今春が暖かく穏やかな春になることを願いつつエリア報告とさせていただきます。

# 日本民間教育大賞と 私塾ネット

文・中村直人  
(私塾ネット副理事)

「株式会社 塾と教育社」が、年1回、日本民間教育大賞選定会議の受賞者選定・主催により、「日本民間教育大賞」の授賞式・記念講演会・祝賀会を東京・神田学士会館において開催しております。「日本民間教育大賞」は「民間教育最高功労賞」「民間教育特別功労賞」の三部門があり、民間教育の発展に著しい貢献をされた方で、前者は75歳以上の方、後者は物故された方に授与されます。

私塾ネットでも、これらの賞を授与された方がいらっしゃいますので、ここにその栄誉を記したいと思います。



佐藤勇治先生

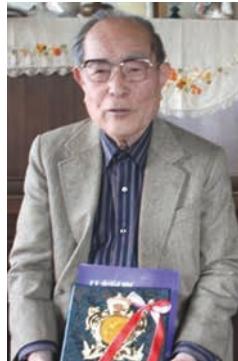
第一回2013年度「学習塾百年の歴史・塾団体五十年史」編集委員会が受賞し、編集長の佐藤勇治先生（調布学園）、副編集長の菅谷友豊香先生（慶應受験会）、監修の中嶋浩一先生（一橋大学名誉教授）が表彰されました。受賞理由は、6年の歳月と160名に上る執筆者を得て、塾と塾団体の歴史を克明に後世に残す大著を完成させた功績によります。

第二回2014年度民間教育最高功労賞を、山口恭弘先生（全日本私塾教育ネットワーク名誉会長、山口塾元代表）が、広島県を中心とする地域の民間教育の発展に寄与した功績、及び長きにわたり民間教育団体の発展に寄与した理由により受賞されました（当日、山口先生は体調不良のため、湯口兼司先生が代理出席されました）。

第四回2016年度民間教育特別功労賞を碇優先生（公益社団法人全国学習塾協会前副会長、碇塾）受賞理由は、民間教育界における数学教育の発展に寄与するとともに、民間教育団体を通じて後進の育成に寄与した功績によるということです。当日は、奥様が出席されました。

第五回2017年度、松本紀行先生（特定非営利活動法人全国教育ボランティアの会副理事長、チャレンジ学院）が民間教育最高功労賞を受賞しました。長野県の民間教育・塾教育の発展に寄与するとともに、教育ボランティア活動の発展に寄与した功績が受賞理由です。

第六回2018年度民間教育最高功労賞を二名受賞しました。一人目は、安藤進理先生（社団法人全国学習塾協会結成に尽力、理事・顧問を歴任、桜学習会）。受賞理由：東京都の民間教育・私塾教育の発展に寄与するとともに、私



山口恭弘先生



碇 優子夫人



松本紀行先生

塾事業者間の交流・連携に寄与した功績。体調不良のため、ご子息の光様が出席されました。残念ながら、昨年九月鬼籍に入られました。

二人目は、渡邊公雄先生（東京私塾・全日本私塾協会会长を経て、社団法人全国学習塾協会及び全国学習塾協同組合の設立に尽力、人間教育渡辺塾会長）。受賞理由：東京都を中心とする地域の民間教育・私塾教育の発展に寄与するとともに、私塾事業者間の交流・連携に寄与した功績。

第七回2019年民間教育最高功労賞を二名受賞。一人目は、玉城邦夫先生（全国学習塾協同組合理事長、修学舎）。受賞理由：千葉県を中心とする地域の民間教育・塾教育の発展に寄与するとともに、全国の私塾事業者間の交流・連携に寄与した功績。

もう一人は、柳田晋次先生（千葉学習塾協同組合の振興に尽力、一般財団法人 八千代国際交流基金理事長、日米文化学院）。受賞理由：千葉県を中心とする地域の民間教育・私塾教育・国際交流の発展に寄与するとともに、私塾事業者間の連携に寄与した功績。



安藤光さま



渡邊公雄先生



第八回2020年度の授賞式は夏に延期されました。受賞者発表は4月1日の予定ですが、昨年八月にお亡くなりになった平林治先生が、民間教育特別功労賞に推挙されたそうです。また別の機会に記事になる予定になっております。

全日本私塾教育ネットワークには、各地域で他の団体とも兼ねて活躍されているかたも多くいらっしゃいます。全国組織の任意団体の特徴が出ているのだと思われます。

上：玉城邦夫先生  
下：柳田晋次先生

がい かん ろく

# 蓋棺録

山口 恭弘先生	エリア中国・広島県	2015年8月3日
碇 優先生	エリア関東・群馬県	2016年11月23日
立脇 兜先生	エリア関東・埼玉県	2017年4月22日
平林 治先生	エリア関東・東京都	2020年8月22日
安藤 進理先生	エリア関東・東京都	2020年9月30日
大沼 信雄先生	エリア東北・宮城県	2020年10月6日
落合 清晃先生、石田 治正先生、大塚 実先生		

私塾ネット創立から20年、この間にお亡くなりになった正会員、名誉会員の方々のお名前を謹んで掲載させていただきます。生前ご縁の深かった皆さま方の、ご供養の参考になれば幸いです。

私塾ネット初代理事長（名誉会長・当時）山口恭弘先生が、2016年にお亡くなりになったのは、ことに大きなショックであった。その年の11月、広島市内で偲ぶ会が開催された。各地から多数の塾人が集結し、山口先生の遺徳を偲ぶ言葉が交わされた。その1年後碇優先生が急逝されるのだが、その碇さんから追悼の弔電が届いており披露された。以下広報53号に掲載された偲ぶ会の報告を一部転載し、あわせて碇さんの追悼文も掲載する。

## 広報第53号（2016.2.18）一部転載 追悼「山口恭弘先生を偲ぶ会」を終えて



河浜 一也  
(学習共同体河浜塾)

11月8日は、雨だった。しとしとした雨だった。それは、自らを高くしない、控えめな故人に似た静かな雨だった。故人・山口恭弘先生は確固とした教育観を持っておられた。それも、はつきりと私塾を視座の中心に据え、私塾から見た教育を堂々と主張する力強い先輩だった。ただひたすら、塾教育界のためにと東奔西走されるお姿は、私利私欲なく走り続けておられることを誰もが認めていただろう。その言葉は、朴訥（ぼくとつ）としていながら、軽くはなかった。

～～～中略～～～

そして、その日は雨だった。

司会者として泣かないことだけを心に決めて司会を務めた。すると天が泣いてくれた。涙雨だった。

改めて思う。先生から学んだことは多い。しかし、先生の生き様・お姿から学ばせて頂いた最大のものは、「教育者は一途（いちず）でないといけない。」ということだった。一途に教育に邁進すること、教育に携わる者は、そうでなければならないと…。それは、教育一筋、教育と塾のほかに多くの話題はお持ちにならなかった一途な教育者・山口恭弘先生の単純にして奥深い渾身のお教えである。



白ばらに縁どられた清楚な祭壇、そこに置かれた遺影に手を合わせ、山口先生との別れを告げる参会者の皆さん

### 碇優先生から電報で届いた追悼文

山口先生は、私にとって、学習塾の在り方や、人間としての在り方など、いろいろなことを教わったいわば師匠です。河浜先生、北川・北田先生、両田中先生など、広島の多くの先生のみならず、関東の先生たちや全国の多くの先生たちに多大な影響を与えた素晴らしい先生でした。社団のできる以前に全塾連とPTFのつきあいで、何度も研修旅行などで、広島・大阪・東京と楽しい時も一緒に過ごしました。

先生、先に逝ったPTFの木下先生や宮崎先生などと、またゆっくりと歓談してください。先生が亡くなられたことは、塾業界にとっても、大きな損失です。残された私たちは、先生の意思を繋いで未来を担う生徒たちを育て、塾業界のために邁進して参ります。どうか先生の優しい眼差しで私たちを見守ってください。多くの先生たちとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

公益社団法人 全国学習塾協会副会長 碇 優

# 2010.5～2021.2 私塾ネット広報 表紙は語る

2010年5月の第30号から広報の表紙を飾ったのは、エリア中国会員（当時）の城忠道先生（芸城学院）が撮影された写真であった。掲載をお願いしたきっかけは、エリア関東の渡辺浩先生の進言によるものだった。城さんの元を訪れた渡辺さんは、撮りためておられた写真の見事さにいたく感心した。そして広報の表紙にいかがだろうかと提案をしてくれた。



忍/2010.5 第30号



熱/2010.7 第31号



実/2010.10 第32号



楽/2011.2 第33号



錦/2011.7 第35号



寛/2011.10 第36号



情/2012.2 第37号



爽快/2012.5 第38号



緑風/2012.7 第39号



秋色/2012.10 第40号



逍遙/2013.1 第41号



木靈/2013.5 第42号



清爽/2013.7 第43号



雌伏/2013.11 第44号



澪標/2014.1 第45号



凌駕/2014.5 第46号



郷愁/2014.7 第47号



喫緊/2014.10 第48号



要諦/2015.2 第49号



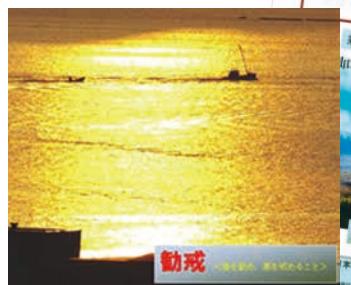
赤心/2015.5 第50号



勁草/2015.7 第51号



裾野/2015.11 第52号



勸戒/2016.2 第53号



広報54号から表紙デザインが模様替えされた。その経緯は以下のちぎり絵歳時記①で紹介をした。

## ちぎり絵歳時記①(花しょうぶ) 作画・中村光江

長きにわたって広報の表紙を飾ってきたのは、エリア中国の城忠道先生の写真とそれにそえるエッセイであった。大変ご好評をいただいた企画であったが、お申出により前号の「歎戒」を最終回として、一連のシリーズに終止符を打つことになった。

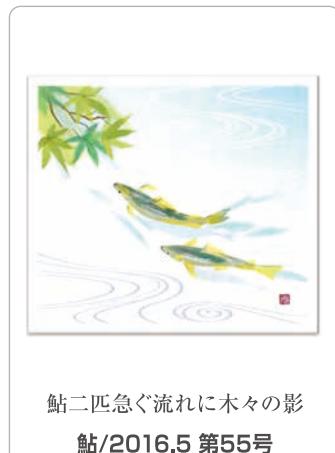
さて、今号から表紙に花を添えていたしたことになったのは、川崎市の中村学院の中村直人さんと奥様の中村光江さんである。光江さんが趣味で続けられているちぎり絵に、直さんがその絵を詠ん

だ俳句を添えるという趣向。当初は俳句を添えるという提案に難色を示された。しかしながら、夫唱婦隨こそ私塾の本来と口説きおどし、第1回の日の目をみることになつた次第だ。

掲句の「谷戸」は「やと」と読み、「谷津」「谷地」とほぼ同義である。谷状の地形にある里山の初夏の風景だが、鳥の鳴き声、おそらくウグイスであろうか、音声が添えられることで、閑静な過疎の里山にもいくらか明るさが差したようである。(志)



鳥の鳴く谷戸に一叢花しょうぶ(直人)

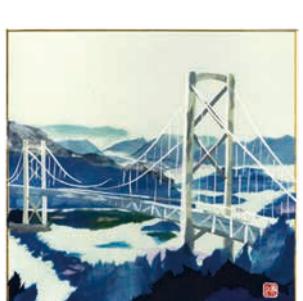
鳥の鳴く谷戸に一叢花しょうぶ  
花しょうぶ/2016.2 第54号鮎二匹急ぐ流れに木々の影  
鮎/2016.5 第55号病葉の陰にひっそり山葡萄  
山葡萄/2016.11 第56号鶏鳴いて新年の門ぞ開きける  
酉年/2017.2 第57号



半袖にそよかぜ清し豆の花  
豆の花/2017.5 第58号



つややかな茄子かがやく地の恵  
茄子/2017.7 第59号



夕影が降りて海峡秋深し  
海峡/2017.11 第60号



初春や今年も行く道不二の山  
不二の山/2018.2 第61号



みほとけの笑みや満ちたり五月闇  
みほとけ/2018.5 第62号



新盆に母のかげみん花糸瓜  
花糸瓜/2018.7 第63号



さつま芋じゃが芋南北地の風味  
芋/2018.11 第64号



初夢ややれ改革と猛進し  
亥年/2019.2 第65号



一輪の薔薇は造花の妙語る  
薔薇/2019.5 第66号



緑陰の溪流白く波躍り  
溪流/2019.7 第67号



生命の木みのり葡萄の酒となり  
葡萄/2019.11 第68号



年重ねついにネットも成人式  
子年/2020.2 第69号



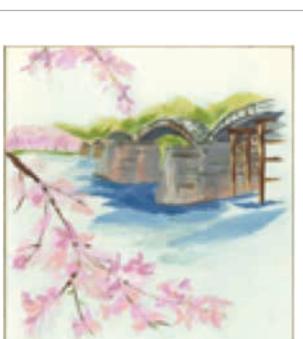
一粒の苺こぼれて卓の上  
苺/2020.7 第70号



去りし人うつむき偲ぶ秋海棠  
秋海棠/2020.11 第71号



コロナ下に息災祈る年始  
丑年/2021.2 第72号



清流に花の雲あり錦帯橋  
錦帯橋/2021.4 第73号

# 私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 長江 広紀(英数学院・神奈川)



事務局長に就任して2ヶ月が経ちました。急遽の登板だったため、何分準備不足でしたが、仲野十和田理事長、鈴木正之会長も事務局長経験者なので心強いです。まずは4月18日の全国塾長職員研修大会と代表者会議を無事に成功させることに注力しています。

先日、私塾ネット設立20周年ということで過去の広報を振り返る機会がありました。ご存じのように、私塾ネットのホームページで閲覧できます。感じたのは、全塾連、PTF、日私会の3団体が大同団結し、ここまで築き上げてこられた先人たちのエネルギーの強さです。そして、継続して活動してきた先生方のご苦労をありありと感じました。まだ活動して6、7年の私には想像がつかないほどの長さ、それが20年です。広報誌一つをとってみても編集長のパワーや思い、研修活動とともに原稿を書いている先生方の熱…。発送作業をしてくださる先生方のありがたさなど、気づいたのは

多くの塾人の力が一つになってできあがっているということです。事務局の仕事もそうですが、会計部も広報部も陰で理事長をしっかりと支えて、会が運営できています。(まだ就いて2ヶ月の私が言うのもなんですが) しっかりと前の世代からのバトンを受け継ぎ、新しい伝統を築き上げていきたいと生意気ながら思っています。

さて、私はエリア関東の総務部長も兼任しておりますが、昨年度は人が集まる研修という形は行えませんでした。しかし、関東ではZOOMを用いた研修を成功させており、物理的距離の壁を取り払いました。渡辺浩代表の働きかけもあり、関東の研修に他エリアの先生方の参加も増えました。会員間のマーリングリストもできましたので、どんどん情報を発信してまいりたいと思います(これをお読みの会員でまだマーリングリストに登録されていない方は、FAXでも結構ですのでご連絡ください)。ただ理想を言えば、他エリアの先生方と直接お会いしたいです。

改めまして、会員・名誉会員の皆様、賛助会員の皆様、他団体の皆様、20年お世話になりました。これからもよろしくお願いします。

## 編集後記

編集長：中村 直人  
制作：谷村 志厚

一昨年末に記念誌の責任者になれと言われ驚きましたが、谷村先生と一緒に組ませていただき楽しく作業ができました。新型コロナウイルスのために研修大会も記念誌制作も一年延期となりましたが、その間2月に原稿をいただいた實吉先生が7月にお亡くなったり、私の父照満をよく存知だった安藤先生・平林先生も昨年夏に鬼籍に入られました。個人的にも親しいものを失い、一筋明るい孫の誕生があったものの、昨年は特別感慨深い年で、それを経ての記念誌完成とな

りました。「来る命逝く人ありて去年(こそ)今年(直)

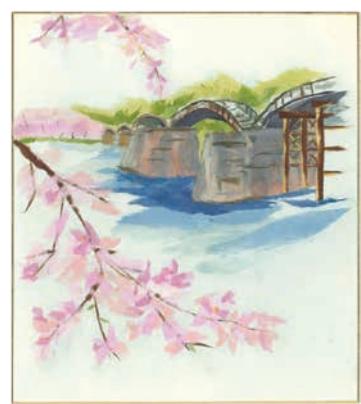
私塾ネット10周年は東日本大震災で「延期」、そして20周年はコロナ感染騒動でこれまた「延期」。まことに申し合わせたようで、おそらく30周年にもなにごとかあるのではなかろうかと邪推したくなる。しかしながら、その時にはおそらく小生この世にはおるまい。「縁起」でもないと叱られそうだが、少なくとも現役で広報の編集には携わってはおるまい。そんな思いを抱きながら、広報20周年号の編集を担当させていただいた。ご執筆いただいた皆さん、編集を補助してくれた中村さん、デザインレイアウトに腕を振るってくれた鈴木さん、関係者各位に深くお礼を申し上げます。(志)

## ちぎり絵歳時記⑯(錦帯橋) 作画・中村光江

さて岩国といえば、私にとって思い出深いのがFEN(Far East Network)というラジオ放送だ。昭和30年代、小学生だった私は、岩国とは瀬戸内海を隔てた愛媛県の片田舎に暮らしていた。四国山地を背に瀬戸内に面したこの地区では、ラジオ・テレビ放送はもっぱら対岸の山口や広島から送信される番組を視聴していたのである。そのなかでも米軍岩国基地から送信されていたFENは忘れない。NHKや他の民間放送にくらべ出力が大きかったのであって、その音声は他を圧してクリアで、安価なラジオでもよく受信できたのであった。

「ファーライーストネットワーク」のコールが始まる英語アナウンスとアメリカンボップスの軽快な音楽は、田舎育ちのなたれ小僧の心にも刺さったのであった。当時中高生であった3人の兄たちは、FENを聞くことを英語学習の一環としていた。はたしてその成果があつたのは、いささか怪しいところではあるが。(志)

錦帯橋は、山口県岩国市を流れる錦川に架かるアーチ橋である。岩国城を背景にその5連木造のアーチ橋が織りなす美しい風景美は、日本三橋の一つに数えられる。2013年12月、錦帯橋を望む「岩国国際観光ホテル」を会場に、私塾ネット中国・四国エリアの合同研修会が開催されている。



清流に花の雲あり錦帯橋(直人)

## 賛助会員一覧（順不同）

<b>関東国際高等学校</b> 東京都渋谷区本町3-2-2	村山 サンドラー 先生 TEL: 03-3376-2244	<b>二松学舎大学付属高等学校</b> 東京都千代田区九段南2-1-32	車田 忠継 先生 TEL: 03-3261-9288
<b>東洋高等学校</b> 東京都千代田区三崎町1-4-16	石井 和彦 先生 TEL: 03-3291-3824	<b>広尾学園小石川中学高等学校</b> 東京都文京区本駒込2-29-1	遠藤 賢 先生 TEL: 03-5940-4455
<b>桜丘中学・高等学校</b> 東京都北区滝野川1-51-12	高橋 知仁 先生 TEL: 03-3910-6161	<b>自由学園（中等部・高等部）</b> 東京都東久留米市学園町1-8-15	更科 幸一 先生 TEL: 042-422-3111
<b>光英VERITAS中学高等学校</b> 千葉県松戸市秋山600	川並 芳純 先生 TEL: 047-392-8111	<b>京華学園</b> 東京都文京区白山5-6-6	今野 巍 先生 TEL: 03-3941-6493
<b>麹町学園女子中高等学校</b> 東京都千代田区麹町3-8	上田 翼 先生 TEL: 03-3263-3011	<b>武蔵野大学千代田高等学院</b> 東京都千代田区四番町11	岡田 孝子 先生 TEL: 03-3263-6551
<b>春日部共栄中学高等学校</b> 埼玉県春日部市上大増新田213	宇野 祐弘 先生 TEL: 048-737-7611	<b>目黒日大中学高等学校</b> 東京都目黒区目黒1-6-15	天野 正貴 先生 TEL: 03-3492-3388
<b>東京立正中学高等学校</b> 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	安原 正樹 先生 TEL: 03-3312-1111	<b>共栄学園中学高等学校</b> 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	松宮 博 先生 TEL: 03-3601-7136
<b>八雲学園中学高等学校</b> 東京都目黒区八雲2-14-1	横山 孝治 先生 TEL: 03-3717-1196	<b>中村中学・高等学校</b> 東京都江東区清澄2-3-15	富田 義道 先生 TEL: 03-3642-8041
<b>武蔵野中学高等学校</b> 東京都北区西ヶ原4-56-20	浅見 尚次郎 先生 TEL: 03-3910-0151	<b>文教大学付属中学高等学校</b> 東京都品川区旗の台3-2-17	神戸 航 先生 TEL: 03-3783-5511
<b>東洋大付属京北学園</b> 東京都文京区白山2-36-5	井出 秀己 先生 TEL: 03-3816-6211	<b>国際高等専門学校</b> 石川県金沢市久安2-270	松尾 多郎 先生 TEL: 076-248-1080
<b>大森学園高等学校</b> 東京都大田区大森西3-2-12	三浦 圭 先生 TEL: 03-3762-7336		
<b>東京成徳大学中学高等学校</b> 東京都北区豊島8-26-9	野中 修也 先生 TEL: 03-3911-7109	<b>(株)私塾界</b> 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	山田 未知之 様 TEL: 03-3987-0838
<b>日本工業大学駒場中学高等学校</b> 東京都目黒区駒場1-35-32	河村 文夫 先生 TEL: 03-3467-2130	<b>デザインオフィスズキ</b> 千葉県柏市柏687-6	鈴木 学 様 TEL: 04-7164-8276
<b>青稜中学高等学校</b> 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充 先生 TEL: 03-3782-1502	<b>(株)POPER</b> 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	栗原 慎吾 様 TEL: 03-6265-0951
<b>東京女子学園中学高等学校</b> 東京都港区芝4-1-30	立原 寿亮 先生 TEL: 03-3451-0912	<b>(株)塾と教育社</b> 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	加藤 麻由美 様 TEL: 03-6265-6855
<b>駒込学園中学高等学校</b> 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允 先生 TEL: 03-3828-4141	<b>(株)ブックモールジャパン</b> 埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター	攬上 聰 様 TEL: 048-447-7457
<b>愛國中学高等学校</b> 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫 先生 TEL: 03-3658-4111	<b>教育開発出版(株)</b> 東京都杉並区下高井戸1-39-12	糸井 幸男 様 TEL: 03-3304-5291
<b>安田学園中・高等学校</b> 東京都墨田区横網2-2-25	仁木 健嗣 先生 TEL: 03-3624-2666	<b>(株)クロノクリエイト</b> 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	添田 大亮 様 TEL: 03-5468-6986
<b>日本音楽高等学校</b> 東京都品川区豊町2-16-12	伊庭 崇 先生 TEL: 03-3786-1711	<b>(株)声の教育社</b> 東京都新宿区新小川町8-15	中村 千尋 様 TEL: 03-5261-5061
<b>立正大学付属立正中学高等学校</b> 東京都大田区西馬込1-5-1	今田 正利 先生 TEL: 03-6303-7683	<b>アロー教育総合研究所</b> 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	古川 貴央 様 TEL: 03-3259-2851
<b>上野学園中学校・高等学校</b> 東京都台東区東上野4-24-12	石田 修一 先生 TEL: 03-3847-2201	<b>(株)サンケイワーク</b> 大阪府大阪市福島区玉川2-8-4-3F	橋本 光幸 様 TEL: 06-6445-0688